



あけましておめでとうございます



2026年、新しい年がスタートしました。冬休みは楽しく過ごせましたか？今年の干支は「午」です。走ることが得意な馬には、前進や成功というイメージがあります。みなさんも、馬のように目標に向かって力強く前進していける、そんな一年にしていきましょう。



今年^{ことし}は午^{うま}年

【新年に読みたい本・馬が登場する本】



『ブレーメンのおんがくたい』 三越左千夫（再話） 草間俊行（絵） フレーベル館

ロバ、犬、猫、ニワトリが音楽隊に入ろうとブレーメンに出かけていきます。しかし、途中で日が暮れてしまい、やっとたどりついたのはどろぼうの家……。さあ、この後どうなるのでしょうか。（グリム童話）

『馬のトレーナーのひみつ』 田村正一（まんが） SHIGS（構成） Gakken

大昔から、人を乗せて走ることで人の役に立ってきた馬。そんな馬を育て、調教する人たちのことがわかりやすく説明されています。イラストや図、解説がたくさん入っているので楽しく読める一冊です。

『エカシの森と子馬のポンコ』 加藤多一（作） 大野八生（絵） ポプラ社

牧場からにげ、森で気ままにくらす子馬のポンコ。長老の木「エカシ」と不思議なカメムシがポンコの友だち。のびやかに日々を過ごし、ポンコがおとなになる様子をやさしいまなざしで描いています。



新聞を読んでクイズに答えよう！



クイズ

今年の干支は「午」ですが、日本で唯一ほぼ野生の中に暮らす馬が宮崎県にいます。さて、その馬の名前はなんでしょう？

ヒント〇〇〇馬



答えは『読売KōDōMō新聞』2025年12月4日号を読むとわかるよ！

12月のクイズの答え

たこ

『読売KōDōMō新聞』2025年11月13日号を読んでみてね。



◆ 本でコミュニケーション ◆

☆おすすめの本☆ (図書委員 白鳥陽南太さんのおすすめ)

『サバンナのサバイバル』 洪在徹（文） 鄭俊圭（絵） 朝日新聞出版



アフリカの大草原に取り残された「ドゥリ」「リナ」「ムンチ」の3人がサバイバルしていくという本。サバンナで生きる術が漫画でかいてあるので、読みやすいしわかりやすいです。また、野生動物の生態や食料についても詳しくかかれていますので、勉強にもなります。サバンナに興味のある人、行ってみたいという人は、ぜひ読んでみてください。